

ハンマー投げでアジアの鉄人と言われた室伏重信氏の長男として生まれる。

高校は千葉県成田市の成田高校に進学し、名監督であった故・瀧田詔生監督の下で、1年生の15歳から様々な競技を体験しながら、父重信氏の徹底した指導を受けハンマー投げをはじめ。入学後4月に行われた人生初の試合での記録は、6.35kgの当時の高校生用ハンマーで2回転投げで44m26であった。1991年の高校2年生のときに68m22の高校新記録(6.35kg)、高校最高記録61m76(7.26kg)を樹立。1992年の3年生のときには高校新記録73m52(6.35kg)、高校最高記録66m30(7.26kg)を樹立。インターハイは、1991年、1992年と優勝している。

1993年、父重信氏が勤務する中京大学に進学。1995年4月、大学3年生のときに日本人で3人目の70mスローワーとなる71m02を群馬リレーカーニバルでマークした。インカレ4連覇。ジュニア日本記録、学生記録など多くの戦績を残した。

1997年、ミズノ株式会社に入社と同時に中京大学大学院体育学研究科に入学。多くの教授からのアドバイスを研究とスポーツに生かしてきている。1998年4月、群馬にて長く日本記録を保持してきた父重信氏の記録を塗り替える76m65をマーク。8月にアテネで行われた世界陸上では初の決勝進出。世界の扉を開いた。

早くから日本の投てき界をリードしてきたが、2000年5月の大阪GPで80mの壁をはじめて破る80m23を投げて優勝し、ハンマー投げ選手として世界のトップ選手の仲間入りを果たした。2003年6月にプラハ行われたグランプリで当時世界歴代3位の記録である84m86をマーク。この記録は過去15年間のなかで、世界最高の記録であった。グランプリ、ゴールデンリーグを含め数々の試合で優勝し、グランプリファイナル、グッドウィルゲームでも優勝。日本人初の快挙を成し遂げてきた。

世界陸上では、好敵手ポーランドのシモン・ジョルコフスキーとの好勝負を繰り広げた2001年エドモントン大会で銀。2003年パリ大会では、大会直前の怪我を克服して銅メダルを勝ち取った。2011年テグ大会では男子最年長優勝者として金メダルを獲得した。

オリンピックでは、2004年アテネ大会で日本人の投てき選手としてはじめて金メダルに輝いた。これはマラソン以外の競技では陸上競技戦後初の金メダル。男子ではベルリンオリンピック(1936年)、三段跳びの田島直人さん以来の快挙である。2012年ロンドン大会では銅メダルを獲得。

なお世界陸上とオリンピック両大会での金メダル獲得は、日本人として史上初である。

世界ランキング1位(その年の世界最長飛距離), 2001年, 2003年, 2010年

2014年の日本陸上競技選手権では、前人未到の20連覇達成。

## 国際主要大会の成績

オリンピック	2000年 シドニー	76m60(9位)
	2004年 アテネ	82m91(優勝) <b>金メダル</b>
	2008年 北京	80m71(5位)
	2012年 ロンドン	78m71(3位) <b>銅メダル</b>
世界陸上	1995年 イエテポリ	67m06(35位)
	1997年 アテネ	74m82(10位)
	1999年 セベリア	75m18(14位)
	2001年 エドモントン	82m92(2位) <b>銀メダル</b>
	2003年 パリ	80m12(3位) <b>銅メダル</b>
	2007年 大阪	80m46(6位)
	2011年 テグ	81m24(優勝) <b>金メダル</b>
	2013年 モスクワ	78m03(6位)
アジア大会	1994年 広島	67m48(2位) <b>銀メダル</b>
	1998年 バンコク	78m57(優勝) <b>金メダル</b> 大会新
	2002年 プサン	78m72(優勝) <b>金メダル</b> 大会新
IAAF ワールドチャレンジ	2010年 リエティ 2010	80m99(優勝) <b>2010年世界最高記録</b>
	2010年 ザグレブ	79m71(優勝)
世界グランプリファイナル	2000年 ドーハ	80m32(2位)
	2002年 パリ	81m14(優勝)
グッドウイルゲーム	2001年 ブリスベン	82m92(優勝)
世界ジュニア	1992年 ソウル	65m78(8位) ※7.26kg

## 過去の日本記録

大会名	日付	場所	記録
群馬リレーカーニバル	1998/04/25	前橋	76m65
日本選手権	1998/10/04	熊本	76m67
中部実業団 vs 学生	1998/10/10	知多	76m72
中部実業団 vs 学生	1998/10/10	知多	77m35
神奈川国体	1998/10/24	横浜	78m41
バンコクアジア大会	1998/12/13	バンコク	78m57
熊本国体	1999/10/24	熊本	79m17
国際グランプリ陸上大阪大会	2000/05/13	大阪	79m20
国際グランプリ陸上大阪大会	2000/05/13	大阪	80m23
南部記念陸上	2000/07/16	札幌	80m47
南部記念陸上	2000/07/16	札幌	80m56
太洋技建スーパー陸上	2000/09/09	横浜	81m08
梅村学園記録会	2001/04/01	中京大	82m21
梅村学園記録会	2001/04/01	中京大	82m23
中京大土曜記録会	2001/04/07	中京大	82m60
中京大土曜記録会	2001/07/14	中京大	83m32
中京大土曜記録会	2001/07/14	中京大	83m47
国際グランプリ II プラハ大会	2003/06/29	プラハ	84m86

## 年間記録の推移

年	在籍	7.26kg	6.35kg
1990年	成田高校 1年	61m76(ジュニア日本新)	57m82
1991年	成田高校 2年	66m30(ジュニア日本新)	68m22(高校新)
1992年	成田高校 3年	68m00	73m52(高校新)
1993年	中京大学 1年	(日本学生新・ジュニア日本新)	
1994年	中京大学 2年	69m54(日本学生新)	
1995年	中京大学 3年	72m32(日本学生新)	
1996年	中京大学 4年	73m82(日本学生新)	
1997年	社会人	75m72	
1998年	社会人	78m57(日本新)	
1999年	社会人	79m17(日本新)	
2000年	社会人	81m08(日本新)	
2001年	社会人	83m47(アジア新・日本新)	
2002年	社会人	83m33	
2003年	社会人	84m86(アジア新・日本新)	
2004年	社会人	83m15	
2005年	社会人	76m47	
2006年	社会人	82m01	
2007年	社会人	82m62	
2008年	社会人	81m87	
2009年	社会人	78m36	
2010年	社会人	80m99	
2011年	社会人	81m24	
2012年	社会人	78m71	
2013年	社会人	78m03	
2014年	社会人	73m93	

